みんなのひろば

◀プロバスケットボールb-リーグが開幕。がんばれ埼玉ブロンコス！
（撮影：市民カメラマン・中村　仁）

ところざわまつり

10月11日(日)、中央地区商店街は33万人を越える人出で大いににぎわいました！

▼ところざわまつりの華「サンバカーニバル」。沿道の視線をくぎづけにします。
（撮影：市民カメラマン・佐藤清一郎）

▲パレード・民踊流しでは計22団体・約1500人が銀座通りを練り歩きました。
（撮影：市民カメラマン・伊藤磨紀子）

▶フィナーレを飾るのはやっぱり山車軍団です。山車７基総顔合わせの曳っかわせは最高潮を迎えます！
（撮影：市民カメラマン・八木豪彦）

▲「アフリカの伝統音楽と伝統舞踊」がパレードに初参加
（撮影：市民カメラマン・箕輪香里）

▲ドッグタイムレースが開催され50頭以上の犬が参加しました。入賞してインタビューに答えるワンちゃん!?
９月19日(土)／所沢航空記念公園
（撮影：市民カメラマン・谷　亮）

誰でもエッセイ

◆テーマ「初孫」

こんど会うとき

下富　衣斐　義徳

こどもの日に、まだ生まれて間もない孫の鈴ちゃんがママと一緒にやって来た。沐浴、絶え間ない授乳、夜泣きなどにぎやかにひと月を過ごした。それから2か月半後、2度目の顔見せにやって来た。

ひざに抱くとズシリと重さが伝わってくる。ミルクを飲む途中で二タリと笑う余裕の飲みっぷりである。「ウーウー」と話し？をしたり、カメラにポーズをとったりと愛きょうを振りまいてくれた。こんど会うときには、どんな輝きを見せてくれるのかな。髪飾りを付けて来るのかな…。

初孫を抱けたとき

上安松　安田　美津江

その時、娘が二十歳、お婿さんは19歳という若さでしたが、立派な赤ちゃんを産んでくれました。初孫に「生まれて来てくれてありがとう！」と話しかけました。

スヤスヤと眠るお地蔵様のような顔。もみじのような手。「ぼくはお母さんだけが頼りだ！」といわんばかりに泣き、私のことを「ばあちゃんさん」と呼んでいたあのころがとてもなつかしい。

我が家のあかり

荒幡　内野　好美

梅雨が明けセミが鳴き始めるころ、我が家に初めての孫が誕生した。分べん室前で待ち続け、元気な産声を聞いたときは暗闇のトンネルから抜け出たようだった。

「やったー！」手に力が入りガッツポーズ。孫の誕生で、人生を二度味わえる…こんな大きな喜びは他にない。灯台のような明るい老後がやって来た。

おっぱい

狭山ケ丘　古川　小夜子

真っ白のドレス?に身を包み、娘に抱かれ初孫は無事退院しました。その日、娘の家から自宅に戻るやいなや娘から電話。電話の向うではさっき退院したばかりの孫が大泣きしている。娘は興奮して「お母さん、赤ちゃんどうしちゃったんだろう!?」と聞いてきたが、孫の大泣きを聞いたとたん私もおろおろするばかりでした。

元気に生まれてきたのにどこが痛いんだろう苦しいのだろうかと、そればかりが頭をかけめぐり、即病院へ直行しました。するとお医者さんは「赤ちゃんはお腹がすいておっぱいが欲しいんだよ」と。一番大切なおっぱいに気づけず、新米おばあちゃんとして恥ずかしい限りでした。

歴史再発見　ところざわの文化財 ㊳

ふるさと所沢を体感しよう

～生涯学習推進センターふるさと研究エリア～

「所沢には博物館がないのですか」「所沢にも博物館がほしい」そんな声をよく耳にします。このような中、今年6月に旧並木東小学校を改修してオープンしたのが「生涯学習推進センターふるさと研究エリア」です。

所沢には、はるか2万年以上前の旧石器時代から人々が住み続けた長い歴史があります。狭山丘陵をはじめとした豊かな自然に恵まれ、独自に育まれた文化や産業があり、また多種多様な生き物の生態を見ることが出来ます。ふるさと研究エリアでは、所沢の歴史や自然、文化や産業などさまざまな分野の資料や情報を集め、調査・研究の成果を公開することもに後世へ伝える役割を担っています。

同エリアは、この活動を市民の皆さんと行う拠点です。

常設展示室では、滝の城の復元模型のほか、所沢の歴史の概要、暮らしや生業の道具、市内で見られる野鳥や昆虫、魚などを実物や写真で紹介しています。企画展示室では11月15日(日)まで企画展「ところざわ発掘物語～ようこそ古代のところざわへ～」を開催。閲覧学習室では、市史をはじめとする刊行物や古文書の複製、古写真、地図などをご覧いただけます。

皆さん、ぜひふるさと所沢を体感しに来てください。

公開日　月曜日・祝休日を除く午前９時～午後５時

問い合わせ　生涯学習推進センターふるさと研究担当☎2991－0308／文化財保護課☎2998－9253

◀常設展示室

エコ・モビリティでいこう！

11月はエコドライブ推進月間

秋が深まり、紅葉狩りに出かける方も多いのではないでしょうか。マイカーでのお出かけの際は「10のエコドライブ」を心がけましょう。

◆エコドライブは二酸化炭素削減、燃料節約、交通安全に効果あり！

①ふんわりアクセル…アクセルをゆっくり踏んで、なめらかな加速
②加減速の少ない運転…余裕を持たせた車間距離と安全な定速走行
③早めのアクセルオフ…前方の信号をよく見てエンジンブレーキで減速
④エアコン使用を控える…設定温度に注意。春や秋は窓を開けて風を入れて走行するのも気持ちがいいものですよ
⑤アイドリングストップ…待ち合わせ等の停車はエンジンを切りましょう
⑥暖機運転は適切に…今のエンジンは暖機運転不要です
⑦道路交通情報…渋滞などの交通情報をチェックしてスムーズな運行
⑧タイヤの空気圧…適切な空気圧を。0.5kg/㎠の低下で２～４％燃費悪化
⑨不要な荷物を降ろそう…荷物100kgを積むことで３％燃費悪化
⑩駐停車場所に注意…路上駐車等で渋滞を起こさないようにしましょう

◆地球温暖化防止を呼びかけるラッピング「ところバス」が３台運行しています。

毎月22日はエコ・モビリティの日です。この日は、ところバスの乗車運賃は100円均一です！

ぜひご利用ください。

問い合わせ　環境総務課
☎2998-9133FAX2998-9394

エコ・モビリティとは、環境にやさしい移動の仕方を意味する造語です。

みんなで止めよう温暖化　チーム・マイナス6%　所沢市は温暖化対策をすすめます

皆さんからの写真や投稿をお待ちしています！

▶エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント（約60字）を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『マイブーム』▶文章は添削あり▶締め切りは11月９日(月)必着▶掲載者には記念品を進呈▶投稿写真・原稿は返却しません

◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501並木１-１-１所沢市役所広報課「みんなのひろば」係へ郵送またはＥメール（アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp）でご応募ください。

は・つ・ら・つ　野老（ところ）っ子

皆さん、最近斬新（ざんしん）なデザインの「ところバス」が走っているのを見かけませんか。市では、地球温暖化を防ぐためにライフスタイルを変えていくよう働きかけるデザインを「ところバス」のボディにラッピングしました。

デザイン画の制作は県立芸術総合高校パソコン部の皆さんにお願いしました。寄せられた10作品はどれもすばらしく、すべての作品を採用したいほどでしたが、選考の結果１年生の小林　澪さんの作品が選ばれました。

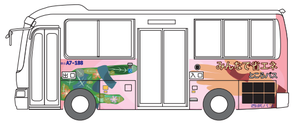
小林さんは、このデザイン画が世の人々の目に触れる最初の作品になるかもしれないと一生懸命制作に取り組みました。

人間の手と自然界の手が握手している周りをリボンのテープが結んでいる……この斬新でユニークなデザインはどのようなイメージで描いたのか伺いました。

ところバスのラッピングをデザイン

小林　澪（みお）さん（県立芸術総合高校１年）

「人間は自然を見下して道具にしていると感じていました。人間の手と植物の手が握手し、人間と自然が同等に共存していくことが、地球の温暖化を防ぐためにも大切だということを表現しました」と、作品に対する奥深い思いを語る横顔が芸術家の片鱗（りん）を感じさせます。顧問の黒澤教諭も彼女の豊かな発想力を手放しで褒めます。小さいころから絵を描くのが大好きで、高校では映像芸術科でコンピューターグラフィックを専攻しています。

尊敬する人物は、映像ディレクターの児玉祐一氏と顧問の黒澤先生とのこと。「将来は人々に感動を与えられるような映像クリエーターになりたい」と、しっかりと自分の未来像を描く小林さん。将来、テレビ放映で彼女がプロデュースした映像を観られるかもしれません。今から楽しみですね！

▶小林さんの◀デザイン画